

登録コード	E2630900	開講年度	2026				
授業科目	体育学基礎A						担当教員 大木 雄太
英文授業名	Introduction to Physical Education A						副担当
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3 時限		対象学生
講義室	共通教育 6 4 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					体育学の実践において求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					体育・スポーツを対象とする研究領域である体育学の基礎的な内容を理解し、説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	体育学に関する基礎的な知識や研究成果について講義し、体育・スポーツにおける諸現象を理解するために必要な基礎的知識を身につけることをめざす。また、さまざまな領域における研究方法の特徴や研究方法論等についても概説する。体育・スポーツに関わる者が身につけておくべき体育学に関する基礎的な知識を習得し、その研究領域や研究方法についての理解を深めることを目的としている。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 授業の進め方とねらい 第 2 回：体育とその周辺概念に関する用語 第 3 回：体育・スポーツの歴史 第 4 回：運動の仕組み（運動システムアプローチ） 第 5 回：運動の仕組み（行為システムアプローチ） 第 6 回：運動の評価法 第 7 回：体育学の研究領域 第 8 回：体育学と自然科学 第 9 回：体育学と人文科学 第10回：体育学と社会科学 第11回：運動の発達 第12回：精緻な運動の原理 第13回：体育学における心・技・体の関係 第14回：子どもの運動と認知 第15回：運動の練習法とその効果 定期試験：試験とその解説・授業アンケートの実施						
(6)成績評価の方法	受講態度や論議での発言の様子(30%), 体育学の基礎的知識・理解度を測る定期試験の結果（70%）により判定する。						
(7)成績評価の基準	筆記試験は、授業で説明した内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」 授業の達成目標への到達度は得点率に応じて評価する。得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：次回のテーマに関する書籍を読んだり映像を見たりして情報収集を行い、それをノートにまとめること。事後学習：ノートを復習し、要点の整理や疑問点の確認をすること。 この授業は 9 0 時間の学修を必要とする内容です。従って、6 0 時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	極力欠席しないこと。授業態度も重視するので、遅刻しないこと。スポーツに関する書籍や新聞等に目を通すことを心掛け、主体的・積極的に授業に参加するようにしてください。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メールで対応する。連絡先：oki_yuta@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	指定しない						